

おらんど

JA全農えひめ情報

■特集

「JAくらしの宅配便」の取り組み

■JA直売所めぐり

〈総集編・東予〉

7

2014・July



取材は快調です。



▶(7月放送分) J A ひがしうわ野菜女性部が料理紹介

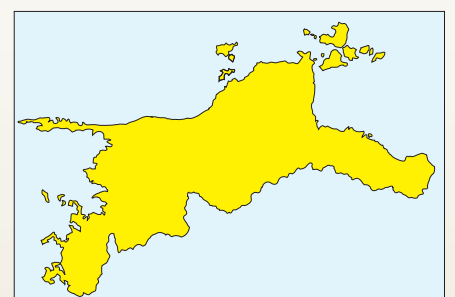


▶(7月放送分) J A ひがしうわキュウリ部会長の三好三智男さんとテレビ愛媛・八木菜緒アナ



「えひめの食」企画 広報番組

(県内)



J A 全農えひめ「えひめの食」企画では、テレビとラジオの広報番組で産地を訪ね、生産者の言葉を通して旬の食材の魅力や食べ方の情報を発信中です。収録時は、出荷時期で多忙ですが、生産者の協力を得て撮影は快調に進んでいます。

番組のねらいは、視聴者⇨消費者に魅力ある旬の農畜産物情報を発信し、地産地消を推進すること。生産者や料理の笑顔とともに、旬の食材の特徴や栽培方法、生産者のこだわり・思い・苦労、生産者ならではの食べ方・レシピを消費者に伝えています。限られた放送時間では伝えきれない技術的な話やこぼれ話などは、ラジオ番組を通じて発信中。テレビとラジオ番組両方で、旬の農畜産物情報をキャッチしてください。

番組告知や放送内容、撮影の裏話などは、J A 全農えひめ「えひめの食」企画ホームページ・ブログで公開中です。番組ともどもぜひご覧ください。

〈「えひめの食」企画広報番組紹介〉

- テレビ愛媛「えひめの食 八木ちゃんの旬感愛媛」
毎月第4土曜日「ふるさと絶賛バラエティいーよ！」
(12:00～) 内で12:30頃～放映中。
- FM愛媛「旬感！えひめチュレ」
(毎週金曜日17:45～)
- FM愛媛「旬感！えひめチュレサタデー」
(毎週土曜日6:30～)

あぐり〜ど

July 2014

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



トウモロコシを収穫中。休憩している脇では子どもたちが背高のっぽのトウモロコシの林の中へ。「もおいーかーい？ まぁだだよー」と、かくれんぼがはじまります。かくれているつもりでも、お尻がまるまる見えてるよ〜。

今夏も暑くなりそうですね。帽子や水分補給など、熱中症対策は忘れなく！

●表紙：トウモロコシ畑でかくれんぼ
はら ふみ(イラストレーター)

※「あぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.163

『えひめの食』 企画広報番組 (県内)

〈特集〉

「JAくらしの宅配便」の取り組み
ご注文はネットや注文書で簡単！
安全・安心なエコープマーク品を
ご自宅にお届けします。

THE・ねっとわーく

ふるさと ESSAY VOL.231

愛情いっぱい野菜に囲まれて
秦 まどかさん

TOPIC NEWS

統計BOX

JAふるさと自慢Vol.163「直売所めぐり」

〈総集編 東予〉

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 キュウリ

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

ご注文はネットや注文書で簡単！

安全・安心なエーコープマーク品を ご自宅にお届けします。

JA全農えひめは、平成24年10月から、愛媛県内のJAで新たな共同購入事業方式として、「JAくらしの宅配便」をスタートさせました。平成25年度末までに県内全ての総合JAにシステムを導入し、会員数と利用拡大を進めています。

「JAくらしの宅配便」は、安全・安心なエーコープマーク品を中心に、国産・県内産にこだわった食料品やくらしに欠かせない商品を自宅まで届ける便利な宅配サービス。従来の共同購入事業に比べて、納品までの速さと豊富な品ぞろえなどの特徴があります。

今回は、「JAくらしの宅配便」の取り組みを紹介します。

「JAくらしの宅配便」は
便利な宅配サービスです。

「JAくらしの宅配便」は、安全・安心な「エーコープマーク品」を中心に、国産にこだわった食料品やくらしに欠かせない商品を自宅まで届ける便利な宅配サービスです。

食料品・日用品・化粧品・農作業衣料品など約1,000アイテムから好みの商品を選び、ご自宅のパソコン

コンまたは携帯電話のサイトから、24時間、365日注文を受け付け、数日中にご自宅または指定納品先まで配送するシステムです。

パソコンが無い方やパソコン操作に不安のある方など、インターネットが利用できない方でも、「JAくらしの宅配便」は利用できます。商品カタログに同封している「JAくらしの宅配便注文書」でほしい商品欄に数量を記入し、JAの支所に届けければ、JAで代行入力してお届け

することができます。

なお、ご利用にあたっては、「ご利用申込書」をJAへ提出いただき、事前に会員の登録が必要です。

「JAくらしの宅配便」の
特徴

「JAくらしの宅配便」は、「ほしい時にすぐ届けてくれる」「時間指定だから好きな時に届く」「重たいものでも届けてくれる」サービスで



■エコープマーク品とは…

- ①安心の国産原材料を優先使用
安全・安心な国産原材料を優先的に使用しています。
- ②安全に配慮した品質基準を設定
残留農薬・食品添加物などの品質基準を設けて厳しい検査を行い安全性を確保しています。
- ③地球・環境にやさしい商品を開発
再生紙利用で森林資源を保護したり、水質汚染の原因物質を使用しないなど、地球にやさしい商品の開発や見直しを進めています。



■「全農ブランド」商品とは…

全農グループの得意とする国産農畜産物の素材に付加価値を付けた加工品・調理品。素材＝「国産原料」にこだわり、食品添加物の使用を極力控え、「安心」「安全」「美味しさ」、鮮度・製法にこだわった商品です。

カタログは、食料品・日用品を掲載している総合カタログと、農業衣料品を掲載しているカタログの2種類（年1回更新）と、愛媛県版チラシを季別に作成・配布しています。

商品はJAグループオリジナルブランド「エコープマーク品」や「全農ブランド」商品、地産地消のJAブランド商品など、国産原材料を優先的に使用したものが中心です。

JAグループは安心と信頼のくらしの良品をお届けします。

JAくらしの宅配便

エコープマーク品の新商品で春野菜をおいしくいただく。

【愛媛県版】
2014年4月～6月

614721
春・夏号

もみあげやきゅうり、ももやしやほうれん草など、旬の野菜をたっぷりと盛りつけた、お弁当やおつまみにもぴったりなサラダです。

野菜と食べる 塩ラーメン 2つ4g(8人8g×2、スーパーで200円以上)

1,230円税込

色とりどり春野菜をサラダでどうぞ。

ご注文いただいた商品は、ご自宅までお届けできます。

ウェブサイト(インターネット)でも注文できる! <http://www.jakurashi.com>

すが、中でも従来の共同購入事業(女性部のチラシ回覧による共同活動、季節商品単一推進等)に比べて、2つの大きな特徴があります。

まず第一に、注文してから納品までの速さです。従来の共同購入方式では注文をして商品が届くまで1か月程度かかっていましたが、「JAくらしの宅配便」では、注文後3日～1週間程度でご自宅まで商品をお届けできます。

もう一つの特徴は、商品の種類の豊富さです。「JAくらしの宅配便」では食料品400種類のほか、日用品・化粧品・農作業衣料品など

国産原料優先の充実アイテムです。

600種類を含め1,000種類以上の商品から選ぶことができます。

一方、JA事業面でのメリットとして、県域・JA域の在庫・配送など重複していた業務を排除し、JAグループのトータルコストの削減にもつながります。また、共同購入未利用者や未配達地域の組合員の会員化により、サービスの向上や組織基盤の拡充に貢献できる事業方式です。

商品はJAグループオリジナルブランド「エコープマーク品」や「全農ブランド」商品、地産地消のJAブランド商品など、国産原材料を優先的に使用したものが中心です。

◆特集：「JAくらしの宅配便」の取り組み



▲6月11日、JAひがしうわ研修会見本市で「こめ油」の説明を聞く女性部員

利用拡大に向けて
商品研修会を開催！

愛媛県版の春夏号では、エコープマークの新商品や季節感のある商品、愛媛のおすすめ品として「んにくポンズ」「はだかんぼう麦茶」なども取り入れています。

この取り組みは他県でも導入が進められており、平成26年6月末現在、21県、119JAが導入済みで、21万1千人が会員登録しています。



▲「米粉入りホットケーキミックス」を味見（JAひがしうわ研修会見本市）

愛媛県内では、平成24年度に4JA、平成25年度に8JAがシステムを導入し、全ての総合JA（12JA）で取り組む体制が整いました。

JA全農えひめ生活資材課では、「JAくらしの宅配便」の導入にあたって、取扱商品が1,000品目に拡大する中で、JAの役員・担当者や女性部役員さんなどを対象に、「エコープマーク商品研修会」を開催しています。

商品研修会は、「見て、食べて、聞いて、触って、使って、納得して」

ただく見本市形式で、食品や日用品・化粧品・衣料など10社以上のメーカーがブースを設置。メーカー担当者が、一般商品との比較試験等を交えて商品の特徴を説明。参加者は実際に食べ比べや試食・試用をいただきます。これまでなじみのなかった商品の存在やこだわり、商品の良さを知ってもらい納得していただく、美味しい食べ方や使い方を周知して生活の中に取り入れてもらう取り組みを進めています。

平成25年度は県内5会場で開催。参加者からは、「面白く楽しかった」「試食もよかった。どの商品も安心・安全であることがよくわかった」「毎年参加したい」「購買意欲がわきました」など好評でした。

今年度は、6月にJAひがしうわ、7月にJAえひめ中央で開催したほか、JA松山市・JAおちいまばり（島しょ部）・JAうま・JA新居浜市で開催予定です。

今後もJAと連携し、支所単位でもこうした研修会等を開催し、エコープマーク品の利用拡大と「JAくらしの宅配便」の会員拡大を進め、組合員への安全・安心の提供と、くらしへの貢献に取り組んでいきます。

THE

ねとわーく

肥料
農薬課「平成26肥料年度秋肥価格が決定
大部分の品目が値下げで決着！」

JA全農は、メーカー各社と交渉を行い、平成26肥料年度秋肥（6～10月）の肥料供給価格を決めました。

価格交渉の特徴・経過と結果の概要

原油価格の高止まりと円安の進行

という厳しい情勢の中、メーカーからは製造諸経費の大幅な値上げ要求がありました。加えて、長年にわたる厳しい合理化の結果、工場修繕や環境対策に十分な資金投入ができなかったため、生産基盤の存続すら危ういとの強い主張がありました。これに対して全農は、米・野菜の

平成26肥料年度 秋肥 価格決定内容

(対県向け価格)

(単位：%)

分類	品 目	成 分	決定内容
			変動率
窒素質	尿 素（輸入）	46	▲2.2
	尿 素（国産）	46	0.0
	硫 安（大粒）	21	▲1.1
	硫 安（粉）	21	▲1.3
	塩 安	25	▲1.1
	石 灰 窒 素	21	2.4
磷酸質	過 石	17	▲2.2
	重 過 石	34	▲1.7
	重 焼 燐	35	▲1.6
加里質	塩 加	60	▲8.0
	硫 加	50	▲0.5
	珪 酸 加 里	20	▲1.1
複合肥料	高 度 化 成 （一般）	15-15-15	▲2.9
	高 度 化 成 （機能・被覆尿素入）	14-14-14	▲1.8
	PKセーブエコ488	14-8-8	▲0.8
	普 通 化 成	8-8-5	▲0.8
	有 機 化 成	8-8-8-3	0.7

※価格変動率は県本部向け供給価格ベースであるため、JA・農家向け供給価格の変動率とは一致しません。

価格低迷に加えて、昨年閣議決定された「日本再興戦略」で、米の生産コストを今後10年間で4割削減する数値目標が打ち出されており、肥料価格水準の抑制を厳しく求めました。こうした状況を踏まえ、工場稼働率低下にともなう固定費の増加、老朽化による修繕費、環境対策費のコストアップは、極力企業努力で吸収すべきだと主張しました。

交渉は極めて難航しましたが、海外原料は前期交渉時より下回った国際市況などの値下げ要因を最大限折り込み、さらにメーカーの合理化努力などを反映させて、大部分の品目が値下げで決着しました。なお、主要動植物質有機質肥料価格が上昇しているため、有機割合の高い有機化成については、値上げとなりました。平成26肥料年度秋肥（6～10月）価格は、表のとおり。全国加重平均で1・81%の値下げとなりました。

JA全農の対応

日本の肥料生産は、主原料を海外からの輸入に依存しており、安定確保の取り組みは極めて重要です。厳しい農業情勢を踏まえ、農家組合員の負託にこたえるため、次の対策に取り組みます。

1 肥料安定供給の取り組み

① 肥料・原料の安定確保

② 海外事業の基盤強化

③ 国内生産基盤の整備

④ 安価な有機質肥料の活用

2 土壌分析・診断にもとづく施肥

コスト抑制対策の取り組み

「トータルアグリード事業」の取り組みとして「担い手に対する無償土壌診断」を継続していきます。

3 低成分肥料および四国地区低コスト配合肥料の普及拡大

低成分肥料「しあわせ化成」や四国地区低コスト配合肥料「いざなみ・農援隊」への銘柄集約を進めます。

4 省力型施肥技術の普及推進

被覆肥料などの肥効調節型肥料による基肥一発施肥や、局所施肥法などの普及拡大に取り組みます。

5 安価な国内未利用資源の活用

鶏糞燃焼灰、下水からの回収燐酸等、地域で発生する国内未利用資源を肥料原料として活用した低コスト肥料の検討を進めます。

6 物流合理化の推進

物流コスト削減を目指し、地区物流センターを核とした総合物流に取り組みます。



愛情いっぱい 野菜に囲まれて

素朴な生活の中でも幸せオーラで溢れ、内側から輝いている人。素敵だなぁと思います。そんな人に憧れる私が、自分の心と身体を大切にするために続けていることのひとつ。それは手作りの野菜ジュースを毎朝飲むことです。祖母の畑で採れた無農薬で愛情たっぷりの野菜や果物たちをふんだんに使ったジュースです。

スーパーに並ぶのは土が落とされ綺麗に包装された形の揃った野菜たち。でも私の家に届くのは新聞紙に包まれ、段ボールいっぱい詰め込まれた野菜たちです。新聞紙を開けると、キッチンにふんわりと土の匂いが広がります。小ささまざまな形の愛嬌溢れる野菜たち。たまに小さな虫も畑から還々大冒険を経てやってきます。小さい頃はそれがたまらなく怖くて、新聞を開けるためには相当の勇気が必要だったことを思い出します（笑）。野菜を一つ一つ丁寧に洗う工程は、料理好きな

私でも一苦労なのですが、産地直送で新鮮だからこそ味わえる大変さでもあります。

野菜と言えば、物心ついた頃から変わらない光景があります。それは祖母の家に遊びに行ったとき。爽やかな日差しと台所からの良い香りで目が覚め、姉と二人、寝ぼけ顔で朝食の手伝いをしていると、勝手口から祖父の登場です。ランニングシャツと土のついたズボンをぎゅっと締める黒いベルト、かごには採れたての野菜をたっぷりと抱える祖父の姿。そしてそれを受け取る割烹着とくるくるパーマがよく似合う祖母の姿。昔からずっと変わらない大好きな光景です。

数分前に採れた新鮮な野菜を食べられる！その幸せに気がついたのは、ごく最近になってからかもしれない。小さい頃から野菜を買う習慣があまりなかったため当たり前と思ってしまっていたのです。今年で87歳になる

かどま 秦 MADOKA HATA

2012年愛媛みかん大使。2014年ミス・ユニバース・ジャパン（MUJ）初代愛媛代表、日本大会第5位入賞。1991年4月16日生まれの23歳、松山市出身。松山市内の小・中学校、松山北高等学校を卒業。愛媛大学在学中に愛媛みかん大使、MUJを経験する。今春大学を卒業、塾講師やモデルをしながら新たな夢に向かい、語学勉強中。

「私にとっての原点はバスケットボール」。小学5年生で友人に誘われバスケットボールを始める。6年生から通うクラブチームのコーチ（モントリオールオリンピック日本代表選手）の影響で、将来は人の夢をサポートしたいと思うようになる。強い精神面が評価され、部活やクラブチームでキャプテンを務める。高校1年生の時にクラブチームで米国・サクラメントへ遠征、初めて異文化に触れる。バスケットボールは高校3年生まで続け、大学では週1回のバスケットサークルと、クラブチームのアシスタントコーチを務める。MUJの過酷なトレーニングをストイックにこなせたのはバスケットで鍛えた精神面の強さが大きく影響していると自己分析をする。「夢に近づくには、もっともっとたくさんの挫折経験が必要。高い目標を持ち、でも自分のペースで楽しみながら人生を歩んでいきたい」。



◀祖父母の山でタケノコ掘りのお手伝い♪ 生えている向きを見て鋤を入れる方向を教えてもらっています。が、私が掘るとタケノコがもったいないことに……練習あるのみ！（笑）

祖父。一人で山仕事、畑仕事をこなすにはあまりにも大変です。雨の日も風の日もずぶ濡れになりながら畑の様子を見に行く祖父には頭が下がります。

その大変さを知っているからでしょうか。私、八百屋さんや魚屋さん、道の駅にある直売所が大好きなのです♪ 生産者の方と少しだけ近づけるような気がし

ます。散歩がてらにふらっと立ち寄る八百屋さん。その元気なおじちゃんとの他愛もない会話はスーパードラマではないあたたかさがあります。ドライブの帰りに寄った道の駅では、友人を放ったらかして、気がいたら一人野菜売り場でたくさんのおウレンソウを抱えていたなんてこともありました（笑）。

さて、野菜ジュースを飲み始めて3年目になりますが、たまにお世辞にも



▲毎朝飲む野菜ジュース！ この日は主要メンバーに加えてスモモ、ピワ、ピーマンも入っています♪

飲みやすいと言えない出来になることがあります。旬のものやその日にあるもので作るため、決まったレシピはないからです。いつも変わらず入っている主要メンバーはキャベツ・リンゴ・ゴボウ・ニンジン・ホウレンソウ・レモン・トマト・ヨーグルト・豆乳・酒粕。でもこれにイチジクやゴーヤ、キウイにハッサクなど、そのときの旬のものが加わるので、毎回違う味や食感になります。ゴーヤを入れ過ぎたときの、食卓での家族の顔は忘れられません（笑）。でも作ってみないとわからない味や食感こそ、手作り野菜ジュースの魅力だと思っています！

祖父母のおかげで野菜が大好きになった私ですが、野菜ジュースを続ける理由はただ身体に良いからというだけではありません。手間をかけて野菜ジュースを作ること、お気に入りのグラスに入れてそれを飲む時間。その一つ一つが私の心の健康を作ってくれるのです。内側から輝くために必要な自分を大切に作る空間と時間。私にとってなくてはならないものです。

祖父母、そして両親が守り続けてくれた野菜と密着したこの生活。いつか新しい家庭を築くことがあれば、今度は私が次の世代にバトンタッチしていく番です！

●第40回椎茸品評会表彰式・椎茸同志会第42回総会 成高王洋さんが6年連続最優秀賞受賞！

愛媛県椎茸同志会主催の第40回乾椎茸品評会表彰式と同志会第42回総会が、5月22日、J A愛媛たいき本所で開かれました。

品評会には1月から3月に収穫された春子の中から40点が出品され、成高王洋さん（J A愛媛たいき）が6年連続で最優秀賞（全農会長賞）を受賞しました。6年連続最優秀賞の成高さんは、「特に厳しい栽培環境だったので喜びもひとしお」と笑顔で話していました。

同志会の第42回総会では、産地基盤強化に向けた平成26年度事業計画を決めました。

昨年の乾椎茸販売は、風評による消費の減少と流通在庫過多により価格が続落し、過去にない厳しい状況となり、J A全農えひめを通じた25年産の平均kg単価は、前年比72%の3,134円（税抜）。全農乾椎茸格付共販事業による安全安心の取り組みや品質面で評価が高く、何とか3,000円台をキープした状況でした。こうした中で、26年度は、消費者に支持される安全・安心な愛媛産椎茸ブランドを確立し、国際競争に勝てる生産基盤の構築と担い手の確保、農家経営の安定に取り組むことを確認しました。

成高王洋会長は、「販売環境は底を脱した感はあるが、依然厳しい状況が続いている。消費拡大に向けて、交流活動やイベント、販促活動等を通じて、安全・安心な愛媛産椎茸の魅力を消費者に直接アピールしていこう」と呼びかけました。

その他の主な入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJ A名）。

▽優秀賞＝大塚幸男（ひがしうわ）、河内遼一（愛媛たいき）▽1等賞＝久保勝利（同）、和気重臣（同）、高橋茂行（ひがしうわ）▽2等賞＝松本和夫（愛媛たいき）、大和田孝（ひがしうわ）、矢野欣一（愛媛たいき）▽3等賞＝瀧野正敏（同）、中村重清（ひがしうわ）、井上久男（愛媛たいき）▽努力賞＝羽柴忠幸（同）、姫地利光（同）



▲6年連続で最優秀賞に輝いた成高王洋さん

●第47回全農乾椎茸品評会 成高さんが2年連続農林水産大臣賞受賞！ ～8人が入賞し、団体の部でJ A全農えひめ2連覇～

J A全農主催の第47回全農乾椎茸品評会が、6月13日埼玉県で開かれ、愛媛県関係では成高王洋さん（J A愛媛たいき）が大葉中肉の部で2年連続農林水産大臣賞を受賞したほか計8人が入賞し、団体の部でJ A全農えひめが2年連続で優勝（J A全農とつとりと同点優勝）を飾りました。

今回は全国20県から344点、うち愛媛県からは40点が出品され、審査の結果、各賞が決まりました。入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJ A名）。

▽農林水産大臣賞〈大葉中肉の部〉＝成高王洋（愛媛たいき）▽林野庁長官賞〈大葉厚肉の部〉＝河内遼一（同）、大塚幸男（ひがしうわ）、〈中葉厚肉の部〉＝久保勝利（愛媛たいき）▽全農会長賞〈大葉中肉の部〉＝高橋茂行（ひがしうわ）▽日本きのこセンター理事長賞〈大葉厚肉の部〉＝瀧野正敏（愛媛たいき）、〈大葉中肉の部〉＝森本信久（同）、〈中葉中肉の部〉＝和気重臣（同）



▲団体の部2連覇を達成し喜ぶ関係者

●愛媛県茶業振興協議会 J Aグリーンえひめの「新茶まつり」賑わう！

愛媛県内の茶主産4 J Aで構成する愛媛県茶業振興協議会は、5月27日、松山市のJ A愛媛で平成26年度総会を開きました。

事業方針では、反収・茶質の向上を図るため老木茶樹の計画的更新や栽培講習会開催により栽培技術の確立、イベント等で試飲即売会を開催して県産茶の消費宣伝などに取り組むことを確認しました。

県内のJ Aでは、J Aうま（新宮茶・富郷茶）、J A松山市（久万茶）、J Aひがしうわ（宇和茶）、J Aえひめ南（鬼北茶）が主産地で、合計約35haで茶を栽培しています。

なお、同協議会は、5月17日と18日の2日間、東温市のJ Aグリーンえひめで、県内4産地の新茶を取り揃え、「新茶まつり」を開催しました。J A担当者としてJ A全農えひめモニターレディらが、産地ごとの味・香りなどの特徴をアピール・説明しながら試飲販売を行いました。新茶の香りに包まれた売り場には大勢の方が詰めかけ、各産地の飲み比べを楽しむなど大好評でした。



▲新茶祭り

●JA愛媛野菜生産者組織協議会 第39回総会

えひめ野菜の生産基盤強化と販売力強化めざす！

愛媛県内11JA80部会（21品目）で組織するJA愛媛野菜生産者組織協議会は、6月17日、松山市で第39回通常総会を開き、平成26年度事業計画を決めたほか、「TPPに関する国会決議の実現を求める特別決議」を採択しました。

26年度事業方針では、生産振興事業として、「トータルアグリード事業」の活用による販売と連動した生産基盤拡充対策と品目課題に即した新技術・新品種実証等の取り組みと、栽培講習会等を通じた栽培技術の高位平準化などに取り組みます。販売促進事業では、販促強化月間に対面型販促活動を重点的に実施するほか、パートナー市場・量販店と連携したアピール力のある消費宣伝・販促活動の展開、産地と消費者を近づける「出向く販促」の強化、訴求力のある宣伝資材の活用などを通じて、えひめ野菜のイメージアップ・販売促進を図ります。

総会では、県農産園芸功労知事表彰と野菜生産改善共進会等の表彰式がありました。受賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJA名）。

◆愛媛県農産園芸功労知事表彰

▽鷹本昌夫（えひめ中央）▽合田久（うま）▽鈴木凱夫（同）▽JAひがしうわいちご部会

◆野菜生産改善共進会

【一寸蚕豆】▽県知事賞＝宮下静子（松山市）▽全農県本部長賞＝早瀬健治（同）、▽協議会長賞＝重川唯男（同）、武智清二（えひめ中央）、秋田森雄（えひめ南）【キャベツ】▽県知事賞＝鈴木凱夫（うま）▽全農県本部長賞＝和田豊秋（松山市）▽協議会長賞＝鈴木昇（うま）、一柳栄一（同）、高松一男（えひめ中央）【メロン】▽県知事賞＝玉置一利（周桑）▽全農県本



▲県農産園芸功労知事表彰受賞の皆さん

部長賞＝戸田公彦（同）▽協議会長賞＝佐伯美一（同）、渡部通孝（同）、武田和敬（愛媛たいき）【白ネギ】▽県知事賞＝土居和正（松山市）▽全農県本部長賞＝長谷部寛（周桑）▽協議会長賞＝青野真二（同）、八束理恵（松山市）、高木安雄（同）

◆全農愛媛県本部長感謝状

▽佐山等（周桑）▽池田久雄（えひめ中央）

●愛媛県肉牛生産者協議会26年度総会

岡崎会長を再任！ 伊予牛「絹の味」販路拡大に取り組む

愛媛県肉牛生産者協議会は、6月13日、松山市のえひめ共済会館で平成26年度総会を開き、26年度事業計画と岡崎哲会長（再任・JAひがしうわ）以下新役員体制を決めました。

26年度事業方針では、県内消費者に安全・安心をアピールし、伊予牛「絹の味」の販路拡大、県内産繁殖牛の基盤維持と子牛育成技術の向上等に取り組めます。また、TPPに関する国会決議の実現を求める特別決議を採択しました。

役員改選では、副会長に、本宮環さん（新任・JAおちいまばり）と池田一成さん（新任・JAえひめ南）が選ばれました。

なお、総会に先立ち、25年度優良生産者とし



て、門田政男さん（JAおちいまばり）を表彰しました。

●愛媛県くり研究同志会平成26年度総会 特選・銘柄栗の販売強化を！

愛媛県くり研究同志会（会員2,150人・大野奉孝会長）は、6月5日J Aえひめ南鬼北広見支所で、26年度総会を開きました。

26年度計画では、農家所得の向上と競争力のある産地づくりに向け、①特選・銘柄栗等のブランド商品の生産・販売体制の強化、②消費者ニーズに沿った安全・安心な栗栽培、③各種研修会の充実による高品質果実生産、④消費地と産地の確かな情報交換と行政・J Aと一体となった栗産地の維持発展に取り組むことを確認。また、「TPPに関する国会決議の実現を求める特別決議」を採択しました。

なお、25年産栗のJ A全農えひめ扱いの販売実績は、数量356 t（前年比74%）、kg単価705



円（同98%）。近年の旺盛な加工需要と需給バランスに後押しされて階級比率が低い中で高値推移となりましたが、出荷計画とのかい離や安定供給に課題が残りました。

●平成26年度愛媛県TAC管理者・TAC合同研修会 TAC活動の充実に向け、TACと管理者が研修

J A全農えひめ営農振興課は、TAC活動の充実とレベルアップにつなげようと、6月9日、松山市のJ A愛媛別館で「平成26年度愛媛県TAC・TAC管理者合同研修会」を開きました。

TACは、値域農業の担い手に出向くJ A担当者の愛称。「とことん会ってコミュニケーション」を合言葉に、県内では81人が活動中です。

研修会には6 J Aの管理者とTACなど49人が参加。全農本所から全国情勢、J A全農ふくれんの井手正明主席主幹から福岡県のTAC活動の状況について報告がありました。また、福岡県J Aにじの林広明作物振興課長が、新設法人に新規品目としてハウレンソウを提案し、導入支援と機械化体系の提案・導入により省力化・コスト低減につなげた取り組みのほか、地域ブ



ランドづくりとして加工品開発の取り組みを紹介。実践事例を通じて、J A・TACの役割や問題解決の取り組み方法を学びました。

また、各J Aが今年度のTAC活動の状況や目標、担い手に対する経営改善等の支援について報告し、情報共有と意見交換を行いました。

●(株)えひめ飲料「POM塩と夏みかん」「POM塩サイダー」を発売！ 愛媛県の中村知事に新商品発売を報告

(株)えひめ飲料の高原茂代表取締役社長らが、5月16日愛媛県の中村時広県知事を表敬訪問し、新商品「POM塩と夏みかん」（5月19日発売）、「POM塩サイダー」（6月2日発売）の発売を報告しました。

新商品は、県内に本社を置く伯方塩業(株)の「伯方の塩」を使用。水分・塩分補給を目的とした『熱中症対策飲料』に仕上がっています。100mlあたりのナトリウム量は、「塩と夏みかん」が53mg、「塩サイダー」は41mg配合しています。

伯方塩業(株)の武田清隆代表取締役社長とともに中村知事を表敬訪問した高原社長は、「このたび県内企業の(株)えひめ飲料と伯方塩業(株)が連携して2商品を発売することになり、報告に伺いました。特に、『しまのわ2014』のロゴマークを商品パッケージに入れており、2商品の拡販を通じて『しまのわ2014』を積極アピールし



▲(右から) 高原社長、中村知事、武田社長、えひめ飲料・山本企画開発部長

ていきたい」とあいさつ。商品特徴の紹介と試飲を通じて、さわやかな味に仕上がった新商品をアピール。試飲した中村知事は、「さっぱりしておいしい」と笑顔で話していました。

●愛媛県米麦振興協会第20回通常総会

米・麦・大豆の品質向上と販売促進対策に取り組む

愛媛県米麦振興協会は、6月10日、J A愛媛で第19回通常総会を開き、26年度事業計画を決めました。会議には、県・行政、J Aなど関係者約20人が出席しました。

26年度計画では、①「売れる米・麦・大豆」づくりのための需要に即した生産誘導と品質向上対策の実施、②水田耕作面積をフル活用する「水田活用米穀」の作付推進、③「えひめ米・特産麦・県産大豆」の販売促進と消費拡大対策の実施、④優良種子の安定供給と種子更新の推進などに取り組むことを確認しました。

米については、県内需要に応じたJ A別・銘柄別作付け計画に基づいた生産誘導と作型の集約を推進。「コシヒカリ」「あきたこまち」「ヒノヒカリ」を中心に作付誘導を行うとともに、酒米用の「松山三井」「しずく媛」など用途別に即した生産誘導を行います。「にこまる」は、平坦地を中心に計画的に導入を進めるとともに、安定した収量・品質を確保するための生産技術実証等を行います。

主食以外の「水田活用米穀」の作付を推進し、現行耕作面積のフル活用を進めるとともに、低コスト多収生産技術の確立に向け、品種や栽培



技術の実証を行います。

27年連続生産量日本一のはだか麦は、愛媛特産品として維持するため、関係機関が連携し、担い手を中心に品質向上や確実な生産量確保と安定的な供給体制の確立に取り組めます。高品質・安定生産に向け新品種「ハルヒメボシ」「ユメサキボシ」の中期的な生産導入とあわせ、加工適性試験、実需者への実態調査を行います。

大豆は、担い手への集約、ブロックローテーションを進め、高品質・安定生産技術の確立・普及徹底に取り組めます。

●第20回 愛媛県JA-SSチェーン大会

「お客様のメインSS」となるJA-SSをめざして！

愛媛県JA-SSチェーン本部（メンバー38SS）は、6月11日J A愛媛で第20回大会を開きました。

大会では、平成26年度の活動計画を決め、大会決議を採択。修正マスタープランに基づく老朽化SS対応と、地域ライフライン網の維持強化を図り拠点整備を積極的に進め、事業基盤の再構築とお客目線による店舗づくりに取り組み、「お客様のメインSS」となるJA-SSをめざします。チェーン活動を活性化し、SS間の連携を深めキャンペーンの積極的な展開や教育研修活動等を通じたスタッフのプロ意識の育成強化により、「お客様から支持されるJA-SS」を構築することを確認しました。

なお、優秀SSや従業員表彰も行われました。受賞者は次のとおりです（敬称略・カッコ内はSS名）。

【総合表彰】J A愛媛たいき川下SS、(株)J A東宇和サービス野村中央SS【揮発油部門】J A西条古川SS、J Aえひめ南J ASS=PORT愛南【新規客数拡大部門】えひめ中央拝志SS、J A



えひめ中央伊予セルフSS【油外収益部門表彰】J A愛媛たいきサンライズ56SS、(株)J A東宇和サービス城川中央SS【SS従業員表彰】▽SS所長=窪田秀人（J A松山市中央）、岡田久（(株)J A東宇和サービス城川中央）▽SS従業員=前川和慶（J A松山市中央）、高松孝臣（J Aえひめ中央南部）、玉岡和也（J A愛媛たいき内子セルフ）、大岡美和（J Aにしうわ大平）、坂本和俊（J Aえひめ南J ASS-PORT津島）

●「ファミリーマート+Aコープ」いよ店 ファミリーマートと全農のコラボ1号店としてオープン

(株)Aコープ西日本は、5月31日、伊予市にコンビニエンスストアとAコープ店舗が一体となった「ファミリーマート+Aコープ」いよ店をオープンしました。

いよ店は、従来のAコープ店舗を全面改装。(株)ファミリーマートと全農の包括業務提携に基づく、全国1号店として開店。関係者によるテープカットには、県内外のマスコミも詰めかけるなど、注目を集めました。

店は、コンビニエンスストアならではの24時間年中無休営業。店内には地域の交流サロンとして活用できる26席の広いイートインコーナーのほか、生産者直売コーナー「なかよし市」の設置、国産素材を生かした全農ブランド商品やエコープマーク品コーナー、JAえひめ中央地元商品コーナーなどがあり、JAグループな



らではの品ぞろえとコンビニエンスストアの利便性が融合した店となっています。

●第16回JAグリーンえひめ「フレッシュ市部会」総会 地域に根ざした直売所をめざす

JAグリーンえひめ「フレッシュ市部会」は、5月21日、東温市中央公民館で第16回総会を開き、平成26年度の事業活動計画を決めました。

26年度計画では、会員が一体となり「魅力ある商品づくり」「豊富な品揃え」で、消費者に支持される売り場づくりをめざします。売り場の活性化に向けて、生産者POPの掲示等により生産現場をイメージできる売り場にしていこうことを確認。会員参加による、「フレッシュ市祭り」「れんげ祭り」「収穫祭」等の交流イベントを通じてファンづくりや地域との交流を進め、地域



に根ざした消費者のための直売所を目指していきます。

●「いよっくら」9周年創業祭 多彩なイベントで大盛況

JAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっくら」(伊予市下吾川)は、5月24日と25日の2日間、「いよっくら9周年大創業祭」を開きました。

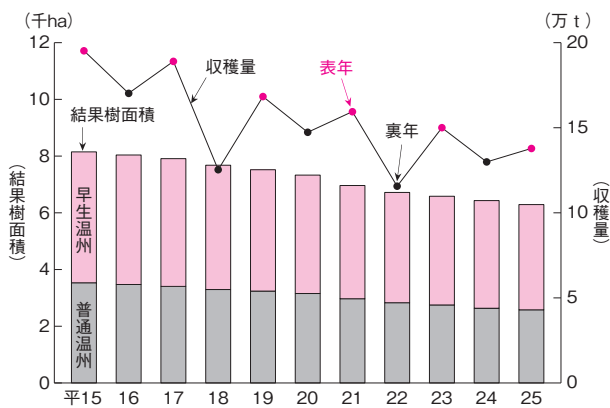
期間中は、いよっくらの店名にちなんで、1,456円以上お買い上げの方先着各500人に粗品を進呈したほか、1日3頭分の豚肉を半額で販売。野菜の袋詰め放題、卵・ウインナーのつかみどり、マグロの解体ショー、じゃんけんゲームなど楽しい催しを実施し、大盛況でした。



統計BOX

愛媛県のみかん収穫量は13万7,800 t — 平成25年産みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量から —

図1 みかんの結果樹面積及び収穫量の推移(愛媛県)



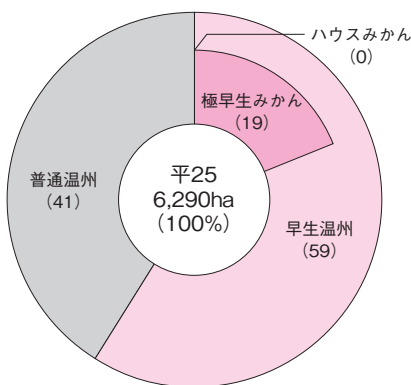
愛媛県の平成25年産みかんの結果樹面積は6,290 haで、前年産に比べて140 ha(2%)減少しました。これは、生産者の高齢化に伴う庭園・規模縮小や優良品目・品種への転換等があったためです。

収穫量は13万7,800 tで、前回の表

**結果樹面積は年々減少、
収穫量は前回表年より減少**

愛媛県は果樹栽培が盛んで、全国でも有数の生産県です。平成24年農業産出額果実部門では全国第6位で、本県農業の最重要部門を成しています。今月は、「みかん」の生産推移についてみていきます。

図2 みかん結果樹面積の品種別割合(愛媛県)



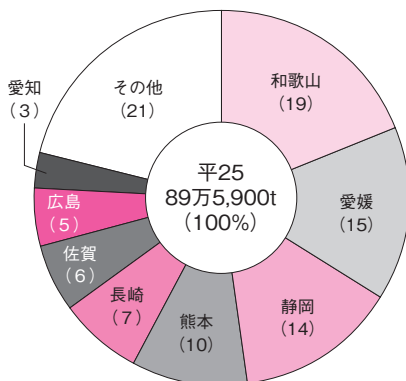
25年産みかんの都道府県別収穫量をみると、愛媛県は16年産から10年連続全国第2位となっています。25年産の全国収穫量は89万5,900 tで、第1位が和歌山県16万8,900 t(全国シェア

**上位3県で収穫量の
約半分を占める**

年である23年産に比べ、それぞれ1万2,200 t(8%)、9,900 t(7%)減少しました。これは、結果樹面積の減少に加え、表年にしては着果数が少なめで、梅雨明け後の高温・乾燥の影響により一部で果実の肥大が抑制されたためです(図1)。

品種区分別結果樹面積は、早生温州3,710 ha(59%)、普通温州2,580 ha(41%)で、早生温州のうち極早生みかんが1,180 ha(19%)で、ハウスみかんは燃料高騰等から減少傾向にあります(図2)。

図3 みかんの都道府県別収穫量割合



中国四国農政局
松山地域センター農政推進グループ

19%)、次いで愛媛県(同15%)、静岡県12万1,800 t(同14%)の順で、上位3県で48%を占めています(図3)。

生産現場を取り巻く状況は、生産者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等による生産基盤の脆弱化とともに、資材費の高騰等により厳しいものとなっています。

産地を次世代につなげていくには、生産者の皆さんが5年、10年先を見据え、「自分たちの産地をどのようにしていくのか」「そのためには、どのような取組を行う必要があるのか」等を話し合い、産地の目標・戦略を設定し、関係者一体となった取組を計画的に進めることが求められています。中心経営体や担い手を中心とした力強い産地体制の構築と多様な消費者ニーズに対応できる競争力の強い産地を実現しましょう。

※情報は6月末現在です。詳細は各直売所にお問い合わせください。 ※直売所名の後の数字はJAスタンプラリーの番号です。

あかがね市「四季菜広場」③～JA新居浜市～



インフォメーション

- TEL/0897-31-0181
- 営/8:30～16:00
- 休/年中無休（盆8月16日、祭10月17・18日、12月31日～1月4日は除く）
- 住/新居浜市田所町3-63

お楽しみイベント

10月4日	秋の収穫祭
12月6日	冬の感謝祭



壁に生産者の笑顔の写真がすら～り／貼られた“顔の見える”直売所です。惣菜、加工品、和・洋菓子も多彩です。11月には、甘さには定評のある大島特産の白芋が出てきます。



▲新居浜市の沖に浮かぶ大島特産の白芋

おいでや市 ①～JAうま～



インフォメーション

- TEL/0896-59-6001
- 営/9:00～16:00
- 休/火曜（12月31日～1月4日は除く）
- 住/四国中央市妻鳥町1121

お楽しみイベント

8月	お盆セール	11月中旬	創業祭
9月中旬	新米里芋まつり	12月下旬	歳末セール



宇摩地方の産物が盛りだくさん。シキミや巻き寿司は安定した人気商品です。特産の里芋や山の芋が出てくれば、季節は秋。芋焼酎「やまじころし」「うま乃風」もおいしい季節を迎えます。



▲外観も楽しい、おいでや市

ときめき水都市 本店 ④～JA西条～



インフォメーション

- TEL/0897-53-6771
- 営/8:30～18:00
- 休/年中無休（盆8月16日12:00～、祭10月16・17日、1月1日～3日は除く）
- 住/西条市神拝字出口甲487-4

お楽しみイベント

10月上旬	創業祭
12月上旬	感謝祭



名水「うちぬき」育ちの農産物が目白押し。夏場の特産「絹かわなす」に続き、秋口からはイチジク、トマト、キュウリ、みかん、ブロッコリー、そして冬場のホウレンソウ。新春は「西条の七草」をどうぞ。



▲甘さが濃い、黒いイチジク

産直 楽しみ市 ②～JA東予園芸～



インフォメーション

- TEL/0896-75-1950
- 営/8:30～18:00
- 休/年中無（祭10月15日、1月1日～4日は除く）
- 住/四国中央市土居町入野79

お楽しみイベント

8月上旬	お盆大売出し	11月	21周年記念大売出し
9月13日～	彼岸大売出し	12月中旬	年末大売出し
10月11日～18日	秋祭りセール		



花しば（シキミ）、花もの（切り花、鉢、苗）が充実。需要の高まる盆、彼岸も安心してご来店ください。秋はミカンが並びはじめ、やがて壁一面がみかん色に染まるほど。贈答用果物も好評です。



▲秋から冬、壁面一列にミカンが山積み／早春には甘平も並び

立花元気市 郷店 ⑦ ~JA今治立花~



インフォメーション

- TEL/0898-32-2355
- 営/9:00~20:00
- 休/年中無休
(1月1・2日、職員研修日を除く)
- 住/今治市郷本町1-2-15 JA今治
立花くみあいマーケット郷店内



▲甘くて、シャキシャキ食感の鳥生れんこん



盆以降は特産の「鳥生れんこん」と品質に定評のある米を中心に、豊かな秋野菜が登場してきます。全国でも珍しいレンコン焼酎「卯三郎」も飲みやすく好評です。

周ちゃん広場 ⑤ ~JA周桑~



インフォメーション

- TEL/0898-76-2022
- 営/9:00~17:30
- 休/年中無休(1月1日~4日は除く)
- 住/西条市丹原町池田290

お楽しみイベント

12月 収穫祭
随時開催 米・柿など、出荷者・部会イベント



味覚の秋は、横野、愛宕、近年人気の高い太秋、大玉の太天と、各種の柿が楽しめます。新米はコシヒカリ、ヒノヒカリ、にこまるなど。農産物の種類・量ともに豊富な大型直売所。



▲品目ごとの種類も多い

JAスタンプラリー ~JAバンクえひめ~



インフォメーション

- 問/JA愛媛県信連 推進支援課 スタンプラリー係
- TEL/089-948-5229 (月~金 8:45~17:00)



地元のおいしさがたくさん詰まった愛媛のJA直売所。夏休みのお出かけ途中に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。県内15のJA直売所のスタンプを3個以上集めれば、抽選で300名にうれしい商品が当たります! 8月31日まで!



スタンプラリー実施のJA15直売所

- 1 JAうま・おいでや市
- 2 JA東予園芸・産直 楽しみ市
- 3 JA新居浜市・あかがね市 四季菜広場
- 4 JA西条・ときめき水都市本店
- 5 JA周桑・周ちゃん広場
- 6 JAおちいまばり・さいさいきて屋
- 7 JA今治立花・くみあいマーケット郷店
- 8 JA全農えひめ
- 9 JAグリーンえひめフレッシュ市
- 10 JA松山市・福音寺青空市
- 11 JAえひめ中央・太陽市(おひさまいち)
- 12 JAえひめアイパックス(株)・いよこら
- 13 JA愛媛たいき・愛たい菜
- 14 JAにしうわ・アグラマルシェ内JAコーナー
- 15 JAひがしうわ・JAれんげ市場
- 16 JAえひめ南・特産品センター みなみく



さいさいきて屋 ⑥ ~JAおちいまばり~



インフォメーション

- TEL/0898-33-3131
- 営/9:00~19:00 (1月~3月は18:00)
- 休/年中無休(1月1日~3日は除く)
- 住/今治市中寺279-1

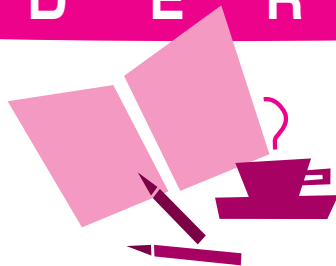
お楽しみイベント 8月30日 夏まつり
12月 年末餅つき



8月はブドウ・「巨峰」、9月は古谷梨、12月は柑橘・「紅まどな」や特産「瀬戸の晴れ姫」など、果物が充実。カフェでは、季節限定のさちのかイチゴ・シロップのかき氷がオススメ。



▲広々とした店内は、とことん今治産!



イベント情報

11月1日(土) アイテムえひめで レインボーフェスティバルを開催します!

J A全農えひめとグループ会社は、11月1日(土)、松山市大可賀のアイテムえひめで、生産者と消費者の交流イベント「レインボーフェスティバル in えひめ2014」を開催します。

■日時：平成26年11月1日(土) 9:40~15:30

■場所：アイテムえひめ(松山市大可賀)

この催しは、全農グループの経営理念「生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋」に基づき、「新鮮で安全・健やかな食文化の創造」「生産者と消費者のネットワーク」をコンセプトに、県内J Aや各種団体のご協力により、毎年開催している県内J Aグループの一大イベントです。

会場では、J A・関係組織による県内各地の農畜産物・特産品の即売、食と農の体験イベント、キャラクターショー、オレンジロードスタートイベントなどを行う予定です。

出品参加を希望される担い手・グループは、最寄りのJ Aまたは下記のイベント事務局までご連絡ください。

◆イベント事務局：J A全農えひめ 総務課(担当：湯上)
(TEL 089-948-5308)



編集後記

★今春、県内にコンビニ最大手が出店し、急速に店舗が増えている中、(株)ファミリーマートと全農の業務提携全国1号店として、「ファミリーマート+Aコープ」いよ店がオープンしました。看板だけでなく、店内は地元農産物やエコープマーク品・全農ブランド商品の販売コーナー、広いイートインコーナーがあり、従来のコンビニとは違った雰囲気となっています。地元ニュースやTV番組「ガイアの夜明け」でも紹介されたのでご覧の方も多いと思いますが、近くにお越しの際にはお立ち寄りください。(正直)

●れんげ祭りのコーナーを見て、自分の子どもの頃を思い出しました。学校帰りや休みの日、何より楽しかった思い出の一つです。友だちと走り回り花冠を作ったり、今みたいに、買い物や映画館へ行ったりするよりも何十倍も楽しかったなと思います。楽しかったいななことを思い出す、とても良いきっかけになりました。わが子にもこれからの未来に伝えていきたいですね。

(四国中央市・曾根 知佐土さん)

●ふるさとエッセーで取り上げられていた映画「WOOD JOB〜神去なあな日常〜」を観ました。林業がテーマですが、中山間地域における生活やくらしのあり方について考えさせられる映画でした。

(松前町・土居 栄次さん)

●4月14日のオレンジデーでは、各地のイベントで愛媛産柑橘をPRしているとのこと。大阪の知人にいろいろな柑橘を送っていますが「紅まどんな」が好評です。個人的には「清見タンゴール」「はるか」が好きですが、いろいろ食べ比べてもらって感想を聞くのが楽しみです。オレンジの季節は忙しくもあり、嬉しくもあり…。(今治市・永井 道子さん)

●統計BOX、食品廃棄物は以前から問題になっており、興味もありました。自分では野菜を無駄なく使うことは楽しいことです。日本での1年間の排出量には驚きました。リサイクル法を推進することも大事ですが、食べ物は大事に食べることが一番ではないかと思えます。

J Aにしようわで「西宇和みかん支援隊」が結成されました。県内各地で支援を受けて農業を続けている農家の様子を小さなコーナーでも毎回みるとステキ!

(八幡浜市・井上 智子さん)

●「トータルアグリード事業の取り組み方向」農業者の所得向上のため、冷凍ミカンなど中東のお金持ちの国や中国等に輸出をしたり、海外に目を向け、視野を広げていただきたいと思いますね。

J A女性部の方たちはとても元気です。名物の女性部の方を発掘して紹介していただけたらと思います。

(松山市・大西 傑さん)

●アンテナショップひなたは、以前から立ち寄ってみたいと思っていた直売所です。愛媛ならではの柑橘は魅力ですが、人気のスイートにジェラート! 特にひなた限定の「きなこもちのジェラート」ぜひ一度食べてみたいです。

(松山市・宮本 実栄子さん)

今月のクイズ

「J Aくらしの宅配便」はネット等で注文のあったエコープマーク品を中心に食料品・日用品などを宅配する事業です。注文して届くまでの期間は?

「〇日〜一週間程度」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

平成26年8月20日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜ど」9月号で発表します。

当選者発表

5月号の答えは「一寸蚕豆」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

篠原賀代子さん(四国中央市)	俊成 純子さん(松山市)
本宮 秀美さん(今治市)	越智香代子さん(宇和島市)
武田 五月さん(西条市)	井関 歩未さん(松山市)
薬師神貴弘さん(宇和島市)	越智 信恭さん(今治市)
高橋 静恵さん(新居浜市)	田上 満代さん(八幡浜市)



NOW NOW

COOKING

今月の素材

キュウリ



カラダを内から冷やしてくれる
盛夏のエコ・ライフ野菜だよ!



▶(左) キュウリと豚肉の塩麹炒め、(右・前) キュウリとタコの梅肉和え、(右・後) キュウリの浅漬け中華風

指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古正子先生

キュウリと豚肉の塩麹炒め

〈材料・4人分〉	※1人あたり約214kcal
豚肉 (こま切れ)	200 g
キュウリ	2本
プチトマト	1パック
塩麹	大さじ3
卵	2〜3個
塩	少々
コショウ	少々
サラダ油	適量

〈作り方〉

- ① 豚肉は食べやすく切り、塩麹をなじませておく。
- ② キュウリは板ずりをし、縦半分に切り、スプーンで種を取り除き、5cmの長さに斜め切りにする。
- ③ プチトマトはヘタをとり、沸いた湯にさっとくぐらせ、氷水にとり、皮をむく (湯むき)。
- ④ 卵を溶き、フライパンにサラダ油を熱し、いり玉子を作り、取り出す。
- ⑤ さらに、フライパンにサラダ油を熱し、①を炒め、火が通れば、②、③、④を入れ、さっと炒める。
- ⑥ 塩、コショウで味を調える。

キュウリとタコの梅肉和え

〈材料・4人分〉	※1人あたり約58kcal
キュウリ	1本
タコ (ボイル)	足1/2本
長芋	100 g
ミョウガ	1本
塩	適量
梅肉	大さじ4
濃口醤油	大さじ1
④ ミリン	大さじ1
砂糖	小さじ2
白ゴマ	適量

〈作り方〉

- ① タコは1cmの角切りにする。
- ② キュウリは縦4つに切り、1cmの角切り、塩でもんでおく。
- ③ 長芋は皮をむき、1cmの角切りにする。
- ④ ミョウガは小口切りにし、水でさらす。
- ⑤ ボウルに④を合わせておく。
- ⑥ 別のボウルに①、②、③を合わせ、⑤の梅肉醤油を合わせる。
- ⑦ 器に盛りつけ、白ゴマと水を切った④をのせる。

キュウリの浅漬け中華風

〈材料・4人分〉	※1人あたり約60kcal
キュウリ	2本
セロリ	1本
塩	小さじ1/2
④ ゴマ油	大さじ1
濃口醤油	小さじ1
白ゴマ	大さじ1
糸唐辛子	適量

〈作り方〉

- ① キュウリは板ずりし、縦に半分に切り、外側に斜めに切り込みを入れ、長さを4等分に切る。
- ② セロリは葉を除き、皮をむき、5cmの長さに切り、①のキュウリと大きさをそろえる。
- ③ ナイロン袋に①、②、④を入れてよく混ぜ、味をなじませる。
- ④ 器に盛りつけ、白ゴマと糸唐辛子をのせる。

みかん、いよかん、ひめぼん、きよみ、河内晩柑。

柑橘王国・愛媛を代表する5つの柑橘の美味しさを、贅沢に味くらべ!



夏ギフトにも
最適

POM 愛媛の
柑橘ジュース詰め合わせ

190 g缶/24本入

3,600円(税込)

【セット内容】
愛媛みかん 8本
愛媛いよかん・愛媛ひめぼん・
愛媛きよみ・愛媛河内晩柑 各4本

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

http://www.ehime-inryo.co.jp
(通販専用) http://www.pom-j.com

組合員のみなさまへ

はじめませんか？ 省エネ住宅でエコライフ。



【イーズマインド】

JAオリジナル住宅

プレミアム エコキャンペーン



【エイジ】

2014年4月1日～12月30日

※2015年3月31日までに着工可能、及び床面積30坪以上の方に限ります。

**エコキュート
460ℓ**

光熱費がお得！
地球環境にもやさしい
給湯システム。



期間中、ご成約の方に、
**W
プレゼント！**

**遮熱ガラスグレード
アップ**

冷暖房効率
グーんとアップで
エコロジー＆経済的！



**17フォームも
「基本は安心」
JAホームで。**



バス

〈こんな方に〉
この際、快適な
システムバスに
したい。タイルが
ひび割れて、
水漏れが心配。



キッチン

〈こんな方に〉
IH、食器洗い等、
機能を充実
させたい。
流し廻りを
清潔に保ちたい。



トイレ

〈こんな方に〉
汲取りから
水洗便所に
したい。
座って楽な
洋便器にしたい。

新築から増改築まで、なんでもお気軽にご相談(無料)下さい。

一貫したトータルサービスで安心をお届けします。

まずはお気軽に
お電話ください。
専門の担当者が
ご相談に
お伺いします。

ご相談



ハウスメーカー選定



ご契約



施工



完成お引き渡し



アフターサービス

お気軽に近くのJAホーム窓口までお問い合わせ下さい。



お近くのJA窓口へ

JA全農えひめ 生産資材部 施設農住課 TEL(089)948-5473

JA/JA全農